

2026年度 履修要綱

昭和音楽大学大学院
音楽研究科修士課程

2026

〔 この履修要綱は、修了するまでの間の履修について定めたものです。 〕

目次

INDEX

1. 人材養成目的および教育研究上の目的	3
2. 3つのポリシー	3
■ ディプロマ・ポリシー	
■ カリキュラム・ポリシー	
■ アドミッション・ポリシー	
3. 研究計画書等の提出について	6
4. 修士論文または修士研究について	7
5. 成績評価	8
6. 試験等	9
7. 追試験	11
8. 修了要件	12
9. 学位審査について	12
10. 学位について	12
11. アセスメントプラン	12
12. 日本語科目について	13
13. カリキュラム	14
・音楽芸術表現専攻	オペラ
	声楽研究
	ピアノ
	弦・管・打楽器
	電子オルガン
	作曲
	指揮
	ジャズ&コンテンポラリーミュージック
・音楽芸術運営専攻	アートマネジメント
	音楽療法
	音楽と文化
◎ 科目ナンバリング	49
◎ 教職課程	52

1. 人材養成目的および教育研究上の目的

■昭和音楽大学大学院 音楽研究科 修士課程

本学の「礼・節・技の人間教育」の理念のもと、音楽と芸術文化における高度な知識と優れた技能を備え、専攻分野の実践的な研究を行う人材、または音楽芸術分野の専門的な職業に必要な能力を備えた人材の育成を目的とする。

また、社会や文化に対する多角的な視野と高い識見をもって、専攻分野に貢献し、文化・社会の発展に寄与する人材の育成を目的とするとともに、それらを可能とする学術研究を行うことを目的とする。

■音楽芸術表現専攻

本学の「礼・節・技の人間教育」の理念のもと、音楽における高度な知識と優れた技能を備え、専攻分野の実践的な研究を行う人材、または音楽分野の専門的な職業に必要な能力を備えた人材の育成を目的とする。

また、社会や文化に対する多角的な視野と高い識見をもち、音楽によって広く社会に貢献し、文化・社会の発展に寄与する人材の育成を目的とするとともに、それらを可能とする学術研究を行うことを目的とする。

■音楽芸術運営専攻

本学の「礼・節・技の人間教育」の理念のもと、音楽と芸術文化における高度な知識と優れた技能を備え、専攻分野の実践的な研究を行う人材、または音楽芸術分野の専門的な職業に必要な能力を備えた人材の育成を目的とする。

また、社会や文化に対する多角的な視野と高い識見をもって、文化・社会に広く貢献し、発展に寄与する人材の育成を目的とするとともに、それらを可能とする学術研究を行うことを目的とする。

2. 3つのポリシー

昭和音楽大学大学院 音楽研究科は、人材養成目的および教育研究上の目的を達成するために、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)を、下記のとおり学位プログラムごとに定める。

■ディプロマ・ポリシー(DP):学位授与の方針

■修士(音楽)Master of Music:音楽芸術表現専攻

人材養成目的及び教育研究上の目的に基づき、本課程における学修・実践を通して、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付け、総合的に活用できる学生に修了を認定し、「修士(音楽)」の学位を授与する。

DP1(高度な専門的知識・技能及び表現力)

- ① 音楽の各分野における高度な知識と教養を修得している。
- ② 優れた技能及び表現力を備え、専門分野において実践的かつ創造的に活用できる能力を身に付けている。

DP2(課題設定力と探究・実践力)

- ① 自らの専門分野における課題を見だし、表現上又は実践上の目標を明確に設定することができる。
- ② 設定した課題に基づいて探究を深め、その成果を演奏、創作、指揮その他の表現活動として結実させることができる。

DP3(音楽と芸術文化に関する広範な知識、多角的視野及び高い識見)

- ① 音楽と芸術文化に関する広範な知識と教養を身に付け、多角的な視野を備えている。
- ② 専門的知見を基盤として、芸術文化の発展に寄与し得る高い識見を備えている。

■修士(芸術)Master of Arts:音楽芸術運営専攻

人材養成目的及び教育研究上の目的に基づき、本課程における学修・研究を通して、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付け、総合的に活用できる学生に修了を認定し、「修士(芸術)」の学位を授与する。

DP1(高度な専門的知識・教養及び実践的能力)

- ① 音楽芸術の各分野における高度な知識と教養を修得している。
- ② 専門分野における学術的又は実践的能力を備え、さらに学術上の課題又は実社会や職業上の課題に貢献できる力を身に付けている。

DP2(研究計画立案力と研究遂行力)

- ① 専門分野における課題を設定し、研究計画を策定することができる。
- ② 目標に基づいて研究を遂行し、その成果を適切にまとめ、発信することができる。

DP3(音楽と芸術文化に関する広範な知識、多角的視野及び高い識見)

- ① 音楽と芸術文化に関する広範な知識と教養を身に付け、多角的な視野を備えている。
- ② 専門的知見を基盤として、芸術文化の発展に寄与し得る高い識見を備えている。

■カリキュラム・ポリシー(CP):教育課程編成・実施の方針

■修士(音楽)Master of Music:音楽芸術表現専攻

ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の獲得をめざし、以下の方針に基づき教育課程を編成し、実施する。

<教育課程の編成及び内容>

CP1(高度な専門的知識・技能及び表現力の育成を図る教育課程)

音楽の各分野における高度な知識、技能及び表現力を養うため、専門分野の実践的な学びを中心とする教育課程を体系的に編成する。演奏、創作、指揮、舞台実践その他の表現活動を通して、専門性を継続的に深化できるような内容とする。

CP2(課題設定力と探究・実践力の育成を図る教育課程)

専門分野における課題を見だし、その解決に向けて探究を深める力を養うため、課題設定、分析、構想、表現の深化へと段階的に学ぶことができる教育課程を編成する。学修成果を実技、創作、研究その他の成果として総合化できるような内容とする。

CP3(音楽と芸術文化に関する広範な知識、多角的視野及び高い識見の育成を図る教育課程)

音楽と芸術文化に関する広範な知識と教養を身に付け、多角的な視野を培うため、専門分野に加えて関連分野、さらに外国語、情報リテラシー、その他の幅広い学びを取り入れた教育課程を編成する。内容については、学生の興味・関心に応じて選択できるようにする。

<教育方法と学修成果の評価>

CP1~3共通

教育内容に応じて、講義、演習、実技を適切に組み合わせた授業を実施する。特に、演習及び実技においては、少人数による教育を重視し、学生の主体的な学びを促す教育方法を取り入れる。各授業科目の学修成果は、シラバス等によりあらかじめ示した評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に評価する。修了に係る成果については、実技、創作、研究等、それぞれの成果の形態に応じて定められた基準に基づき、論理性、独創性の観点から総合的に評価する。

■修士(芸術)Master of Arts:音楽芸術運営専攻

ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の獲得をめざし、以下の方針に基づき教育課程を編成し、実施する。

<教育課程の編成及び内容>

CP1(高度な専門的知識・教養及び実践的能力の育成を図る教育課程)

音楽芸術の各分野における高度な知識と教養及び実践的能力を養うため、専門分野の理論的・実践的な学びを中心とする教育課程を体系的に編成する。専門分野の特性に応じて、研究と実践を往還しながら専門性を深化できるような内容にする。

CP2(研究計画立案力と研究遂行力の育成を図る教育課程)

音楽及び芸術文化に関する知識・教養を基盤として、専門的かつ学術的又は実践的な研究手法を身に付け、研究課題の設定、研究計画の立案、研究の遂行へと段階的に学びを深めることができる教育課程を編成する。修士論文又は修士研究を主軸として、学修・研究の成果を総合化するような内容にする。

CP3(音楽と芸術文化に関する広範な知識、多角的視野及び高い識見の育成を図る教育課程)

音楽と芸術文化に関する広範な知識と教養を身に付け、多角的な視野を培うため、専門分野に加えて関連分野、さらに外国語、情報リテラシー、その他の幅広い学びを取り入れた教育課程を編成する。内容については、学生の興味・関心に応じて選択できるようにする。

<教育方法と学修成果の評価>

CP1~3共通

教育内容に応じて、講義、演習、実習、実技を適切に組み合わせた授業を実施する。特に、演習、実習及び実技においては、少人数による教育を重視し、学生の主体的な学びを促す教育方法を取り入れる。各授業科目の学修成果は、シラバス等によりあらかじめ示した評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に評価する。修士論文又は修士研究については、定められた審査基準に基づき、論理性、独創性の観点から総合的に評価する。

■アドミッション・ポリシー(AP):入学者受入れの方針

■修士(音楽)Master of Music:音楽芸術表現専攻

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各専門分野の高度な知識と教養及び優れた技能を備え、実践的な表現活動又は専門的な職業に必要な能力を備えた人材を育成することを目的としている。建学の精神と教育目的を理解し、意欲あふれる人物を受け入れる。

<求める人物像>

次の要素を備えた人物を求める。

AP1(知識・技能)

音楽の各分野における基礎的な技能・知識を有し、音楽芸術文化に関する基礎的な知識と教養を備えていること。

AP2(思考力・判断力・表現力)

専門分野に関する知識・技能を基盤として、自ら課題を見だし、探究し、表現するための基礎的な思考力・判断力・表現力を備えていること。

AP3(主体性をもって学修・探究に取り組む態度)

音楽の各分野における優れた表現者、指導者等をめざし、自らの専門性を高めるために主体的かつ継続的に学ぶ意欲を有していること。

■修士(芸術)Master of Arts:音楽芸術運営専攻

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各専門分野の高度な知識と教養及び優れた技能を備え、実践的な研究又は専門的な職業に必要な能力を備えた人材を育成することを目的としている。建学の精神と教育目的を理解し、意欲あふれる人物を受け入れる。

<求める人物像>

次の要素を備えた人物を求める。

AP1(知識・技能)

音楽芸術の各分野における基礎的な技能・知識を有し、音楽芸術文化に関する基礎的な知識と教養を備えていること。

AP2(思考力・判断力・表現力)

専門分野に関する知識・技能を基盤として、自ら課題を見だし、学術的に探究し、その成果を適切に表現するための基礎的な思考力・判断力・表現力を備えていること。

AP3(主体性をもって学修・研究に取り組む態度)

音楽の各分野における優れた実務家、指導者、研究者等をめざし、主体的に学び、研究又は高度な専門性を備えた活動に取り組む意欲を有していること。

3. 研究計画書等の提出について

大学院音楽研究科修士課程では、毎学年度の当初に自らの「研究計画」を作成し、それに従って研究を行わなければならない。このことは、学校教育法に基づく「大学院設置基準」、および本学「大学院規則」に定められている。また、「修士論文・修士研究題目届」についても、所定の形式で所定の期日までに提出する必要がある。

①「研究計画書」(1年次・2年次)

大学院における研究テーマ(修士課程2年間を通じて研究したいと考えているテーマ)、および本年度の具体的な研究計画(当該年次の1年間、自分が課題として取り組むこと)

②「修士論文・修士研究題目届」(論文執筆学年のみ)

修士論文または修士研究の題目、および具体的な執筆計画

①は専攻実技等の指導教員、②は修士論文または修士研究の指導教員と相談の上作成し、その承認を得ることが必要。これらを作成する目的は以下のとおり。

- ・ 学生各自が、自身の研究や勉学についての明確なヴィジョンを持つこと。
- ・ 各学生と指導教員との密な協力体制を作ること。

各自、研究計画書に基づいて、指導教員らと密接にコミュニケーションを図り、修士課程での研究をより充実したものとすように心がけること。詳しくは、年度当初のオリエンテーションにて案内されるので、その指示に従うこと。

4. 修士論文または修士研究について

大学院での学びの総仕上げとして、2年次には「修士論文」または「修士研究」の執筆が義務付けられている。「修士論文」または「修士研究」を提出した者は、その内容についての審査及び試験を受けなければならない。さらに、「修士論文」については、中間発表を行う必要がある。

【音楽芸術表現専攻の場合】

執筆に当たっては、2年次に履修する選択必修科目「修士論文Ⅰ①、②」、「修士論文Ⅱ」、「修士研究」の授業内で指導を受ける。

【音楽芸術運営専攻の場合】

「修士特別研究」の授業の一環として、「修士論文」または「修士研究」を執筆する（音楽療法、音楽と文化は「修士論文のみ」）。

執筆・提出に関する詳細は、ポータルサイト、および専攻ごとに配付する修士論文執筆マニュアル等で発表されるので、それに従うこと。

なお、提出日、審査・試験日程等のスケジュールは、年度当初のオリエンテーションで発表する。

修士論文審査基準

昭和音楽大学大学院音楽研究科では、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、修士論文等の審査基準を次のとおり定めています。

- 先行研究を十分に検討していること。
- 研究の目的、対象、方法、視点が明確であり、論文等の構成が適切であること。
- 収集したデータ・情報を適切に整理、提示、分析していること。
- 必要十分な議論が論理的に展開されていること。
- 引用の仕方、分量が適切であり、適切に言及、批判されていること。
- 研究倫理を遵守していること。

5. 成績評価

評価	点数等	合否	単位	グレードポイント (GP)
S	100～90点	合格	認定	4
A	89～80点	合格	認定	3
B	79～70点	合格	認定	2
C	69～60点	合格	認定	1
F	59点以下	不合格	不認定	0
M	試験未受験	不合格	不認定	0
T	出席不良による受験停止	不合格	不認定	0
CR	合・否のみで判定される一部の科目の「合格」	合格	認定	—
NC	合・否のみで判定される一部の科目の「不合格」	不合格	不認定	—
N	本学入学前の既修得単位	—	認定	—

評価方法

科目ごとに設定している学修成果が修得できているかを、定期試験等を実施し、点数により適正に評価し、単位認定を行う。

シラバス

本学は授業科目ごとにシラバス(授業計画)を作成、ポータルサイトで公表をしている。シラバスには教育目標と概要、学修成果、成績評価、授業外学修、授業展開、実務経験のある教員による科目等が記載されている。シラバスは学修計画、コース別教育課程、評価方法等を理解するうえで重要となるため、科目を履修する際は必ず確認、理解をすること。

GPA制度

本学は適切な成績管理の実施、客観的な成績評価、科目間の成績評価基準の平準化を目的として、成績評価に基づき、学業成績を総合的に判断する指標として、単位当たりの成績評価の平均値を示すGPA(グレードポイントアベレージ)を用いている。なお、修了判定時にGPAを基準のひとつとして判定を行う。

6. 試験等

1. 受験資格について

- ① 評価を受ける科目の履修登録をしている者
- ② 授業出席回数が、授業回数の3分の2を超えている者
〔例:全7回授業の場合は5回、全14回授業の場合は10回以上の出席が必要〕
- ③ 授業料その他の学納金を納入している者

2. 試験運営について

- 原則として、学科目試験は最終授業回の中で実施し、実技試験は各学期末の試験期間中に実施する。
- 各試験の時間割は試験開始の1週間前までを目途にポータルサイトで発表される。
- 複数担当者のいる授業、複数クラスのある授業は合同試験等を行う場合がある。発表される時間割をよく確認すること。
- 試験実施日時に2科目以上の試験が重複する場合や、伴奏者が他の試験と重複する場合は、事前に「試験重複届」を授業支援室へ提出すること。

3. レポート試験および提出物について

授業、定期試験、追試験等でレポートを提出しなければならないことがある。

レポートの提出方法は次のとおりとする。

- ① 通常授業でレポートを提出する場合は担当教員の指示に従うこと。
- ② 定期試験が「課題(作品)提出」の場合は、定められた期日までに指定された方法で提出すること。
- ③ 作成にあたってはペン、ボールペン書きまたはパソコン等の機器によるものとする(鉛筆書き不可)。
- ④ 窓口での提出に際しては、「レポート提出証」に所定の事項を記入し(鉛筆書き不可)貼付すること。提出証の控えは必ず保管すること。
- ⑤ 定められた期限以降は受理しないので注意すること。

◆レポート、論文等における不正行為について

引用であることを明記せず、書物やウェブ上のサイトから他人の文章を丸写ししたり、抜き書きしたりすることは、不正行為となる。このような行為によるレポート・論文作成は、試験におけるカンニングと同様になるので注意すること。

不正行為の種類

- ① 捏造：存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
- ② 改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
- ③ 盗用：他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文または用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

◆生成系AIの利用について

- ① AIから自動生成された文章・画像などの著作権侵害に関してAIが学習するために利用した大量のデータには著作権が存在するデータが含まれることがある。そのため、AIを利用して自動生成された文章・画像などのデータには、他者が著作権をもつ文章・画像などのデータと同じ内容、または、非常に似た内容になってしまう可能性がある。また、AIを利用して自動生成された文章・画像などのデータをそのまま利用してしまうと、著作権侵害とみなされることも考えられる。したがって、AIを利用して自動生成された内容については、流用ならびに、第三者に開示、送信することが無いようにすること。
- ② 機密情報・個人情報の入力禁止に関してAIに入力したデータは、データベースに保存され、他者への回答に利用される可能性がある。また、サービス提供者から入力した情報を閲覧される可能性もあるため、個人情報の入力は行わないこと。

4. 受験時の注意事項

A. 受験者は次の諸点を厳守しなければならない

- ① 指定された試験場で受験すること。(開始5分前までに着席すること)
- ② 受験の際は学生証または受験許可証(仮学生証)を必ず所持すること。
- ③ 学科目試験において遅刻した者は担当教員の指示を受けること。
- ④ 試験当日は自分の受験すべき時間に遅刻した者は受験できない。
- ⑤ 不正行為をしてはならない。

以上の他、試験場内の秩序維持はすべて監督者の指示に従うこと。

B. 不正行為に対する処分(重要)

- ① 私語や、態度の不正な者、監督者の指示に従わない者、その他不正行為とみなされた者に対し、監督者は退場を命じ、かつその答案を無効とする。また、不正行為が認められた場合は、受験した科目も含め、当該期の全科目を無効とする。
- ② 不正行為として処分された者は、留年となることがあるので十分注意すること。不正行為は「懲戒」の対象であり記録に残る。

Point!



仮学生証発行は年に1回のみ！ 学生証は必ず所持しよう！

実技試験・学科目試験等の日程や課題はポータルサイトにて発表。常に確認すること！

各種案内の見間違いには注意！ 注意深く確認しよう！

その他の連絡事項等もポータルサイトでの連絡が多いので、日ごろからの確認が大切！

7. 追試験

追試験

定期試験を止むを得ない理由で欠席し、追試験を希望する学生に対して行われる試験である。学生は本学が認めた場合のみ受験できる。

追試験の成績評価は得点より1割減となる。公欠制度による追試験受験は本試験扱いとして成績評価する。(公欠制度については『学生ハンドブック』に記載)

また、「理由のある欠席」として認められた場合は、内容により、追試験扱いまたは本試験扱いとして成績評価する。(「理由のある欠席」についても『学生ハンドブック』に記載)

「追試験願」の申請について

追試験の希望者はポータルサイトWEB申請の「追試験願」に欠席の理由が証明できる次の書類を添付して、試験日を含め4日以内(土日祝日含む)に申請すること。追試験願の申請期間の4日目(最終日)が土日祝日に当たる場合は、その日以降授業支援室窓口が開く最初の日までに申請すること。

- ① 急な病気・ケガによる欠席の場合は、欠席した日に治療、診断したことが分かる医師の診断書。
- ② 交通機関の事故、遅延等による欠席の場合は、交通機関が発行する遅延証明書。
- ③ 本学が公欠として定めた忌引による欠席は、保証人等が署名・捺印した忌引願(書式は授業支援室)。
- ④ 上記以外の本学が公欠制度として定めた欠席は、それを証明することができる書類。
- ⑤ 「理由のある欠席」として本学が認めた欠席は、それを証明することができる書類。

注意事項

- ① 全ての手続きにおいて添付書類の無い「追試験願」は一切受け付けない。
- ② 試験当日、電話による連絡は欠席理由を認めるものにはならない。期日までに手続きをすること。
- ③ 就職試験や病気・ケガによる通院、治療、入院など試験に欠席することが予想される場合は必ず事前に手続きをすること。
- ④ 出席日数不足等による受験停止者の追試験願は受け付けない。

追試験実施について

- ① 申請された「追試験願」を本学が審査する。受験が認められた場合はポータルサイトで案内。
- ② 受験が認められた学生は、事務局内設置の券売機にて追試験受験証紙(学科目1,000円、実技3,000円)を購入し、授業支援室へ提出。※公欠制度による追試験は証紙が不要。
- ③ 本学が定めた日程において追試験を受験すること。
- ④ 追試験欠席による追試験は行わない。本人の自己都合で、定められた追試験日に受験できない場合も理由の如何を問わず同様とする。

Point!



追試験を希望する場合には必ず期限までに手続きをすること！
手続に必要な書類を提出できるようにきちんと準備しておこう！
追試験を受験するにあたり、受験料が発生することを覚えておこう！

8. 修了要件

修士課程音楽芸術表現専攻の修了要件は、本課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、実技修了試験に合格し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または修士研究の審査及び試験に合格することである。

修士課程音楽芸術運営専攻の修了要件は、本課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文等の審査及び試験に合格することである。

9. 学位審査について

学位審査は、昭和音楽大学大学院規則ならびに昭和音楽大学学位規則に則って行われる。

研究科長は、修士論文または修士研究の提出があった場合は、研究科委員会にその審査を依頼し、研究科委員会は、その依頼に基づき、その専攻分野の教授および関連科目担当の中から2名以上を審査員として、学位論文等の審査を行う。

試験は、学位論文等審査の終了後に、学位論文等を中心として、その関連する分野について口述又は筆記により行うものとする。

研究科委員会は、当該大学院学生の修得単位並びに学位論文等の審査及び試験の結果に基づき、その者の課程修了の認定について審査し、研究科長は、その結果を学長に報告する。

学長は、課程修了の認定をされた者に対し、修士の学位を授与する。

10. 学位について

「昭和音楽大学学位規則」の定めるところにより、本学修士課程で授与される学位は以下の通り。

学位の名称	音楽芸術表現専攻の場合：	修士(音楽) Master of Music
	音楽芸術運営専攻の場合：	修士(芸術) Master of Arts

11. アセスメントプラン

本学は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証するため、その方針をアセスメントプランとして定めています。

アセスメントプランは機関レベル(大学院音楽研究科全体)、教育課程レベル(大学院音楽研究科・課程・専攻)、科目レベル(授業科目)の3つのレベルで、学修成果の測定・検証を行います。

(1) 機関レベル(大学院音楽研究科全体)

修了者数、学位授与数、進学率、就職率、休学率・退学率、進路決定状況調査や学修成果に関するアンケート調査等の結果から、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証する。

(2) 教育課程レベル(大学院音楽研究科・課程・専攻)

単位修得状況、GPA、修了要件達成状況、学位取得状況、資格取得状況、学生の学修実態調査等の結果から、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証する。

(3) 科目レベル(授業科目)

シラバスで示されている授業科目ごとの教育目標の達成状況、学生による授業評価アンケート等の結果から、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証する。

12 日本語科目について

修士課程では、主に留学生を対象とした日本語科目を開講している。これは、日本語能力および高度なプレゼンテーション能力の向上、日本語の原著講読実践の機会の提供等を目的とした科目であり、修士論文、修士研究を補完する授業である。従って、留学生は各自のレベル、目的に合った履修をすること。

<履修できる学生>

留学生・母語が日本語でない学生・帰国子女等、日常で日本語を使用する機会が少なかった学生。

<履修方法>

- 履修にあたっては各自で判断し、日本語クラス分け試験を受験すること。
- 日本語クラス分け試験を受験し、指定された科目を履修すること。

科目名(クラス)	単位数
原典講読研究Ⅰ(日本語)	2
原典講読研究Ⅱ(日本語)	2
日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1
日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1
日本語と日本社会研究Ⅰ	1
日本語と日本社会研究Ⅱ	1
実用日本語研究Ⅰ	1
実用日本語研究Ⅱ	1
日本語日本文化研究Ⅰ	1
日本語日本文化研究Ⅱ	1
日本語日本文化研究Ⅲ	1
日本語と日本社会研究Ⅲ	1
日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1
実践日本語研究	1
キャリアと日本語研究	1
アカデミック・ジャパニーズ研究	1
西洋音楽史特殊講義(留学生)	2

【注意事項】

- 日本語科目(指定された者のみ履修可)および「原典講読研究Ⅰ・Ⅱ(日本語)」を合わせて、履修の上限は8単位とする。
- 日本語科目の履修は、1年次だけでなく、2年次も継続的に履修することが望ましい。
- 他の必修科目と重複する場合は、日本語科目を優先することが望ましい。
- 同じ開講期内に同じカテゴリーの科目(例:「日本語と日本社会研究Ⅰ」と「日本語と日本社会研究Ⅱ」)を履修することはできない。

14. カリキュラム

音楽芸術表現専攻

オペラ

声楽研究

ピアノ

弦・管・打楽器

電子オルガン

作曲

指揮

ジャズ&コンテンポラリーミュージック

音楽芸術運営専攻

アートマネジメント

音楽療法

音楽と文化

音楽芸術表現専攻（オペラ）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	20単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ				10～11単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- オペラに関連した広範な知識と教養を得ると同時に、オペラの公演に必要な応用力、総合的な表現力を身に付け、演奏することとチームを纏める力を活かして社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

	1年次	2年次
舞台発声研究（伊語）Ⅱ		修士論文Ⅰ①
舞台表現テクニック研究Ⅰ		修士論文Ⅰ②
修士声楽アンサンブルⅠ		舞台表現テクニック研究Ⅱ
作品研究特殊講義Ⅰ		修士声楽アンサンブルⅡ
実践伊語研究①		音楽マネジメント特殊講義Ⅰ
		実践伊語研究②

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	オペラアリア中心のプログラム (10分以内)	オペラアリア中心のプログラム (15分以内)
秋学期	オペラアリア中心のプログラム (15分以内)	オペラアリア中心のプログラム (20分以内)

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
VOCL501	修士表現実技（声楽）①	2	必修	1	
VOCL502	修士表現実技（声楽）②	2	必修	1	
VOCL601	修士表現実技（声楽）③	2	必修	2	
VOCL602	修士表現実技（声楽）④	2	必修	2	
VOCL503	修士オペラ特別演習①	2	必修	1	
VOCL504	修士オペラ特別演習②	2	必修	1	
VOCL603	修士オペラ特別演習③	2	必修	2	
VOCL604	修士オペラ特別演習④	2	必修	2	
VOCL507	舞台発声研究（伊語）Ⅰ	1	必修	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A：「修士論文Ⅰ①・②」（2科目2単位） B：「修士論文Ⅱ」（1単位） C：「修士研究」（1単位）
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
COMN501	修士声楽アンサンブルⅠ	1	○	1	
COMN502	修士声楽アンサンブルⅡ	1	○	1	
COMN503	修士声楽アンサンブルⅢ	1	○	1	
COMN504	修士声楽アンサンブルⅣ	1	○	1	
VOCL508	舞台発声研究（伊語）Ⅱ	1	○	1	
VOCL509	舞台発声研究（独語）Ⅰ	1	○	1	
VOCL510	舞台発声研究（独語）Ⅱ	1	○	1	
VOCL511	舞台発声研究（仏語）Ⅰ	1	○	1	
VOCL512	舞台発声研究（仏語）Ⅱ	1	○	1	
VOCL513	舞台表現テクニック研究Ⅰ	1	○	1	
VOCL514	舞台表現テクニック研究Ⅱ	1	○	1	
VOCL515	オペラ台本特別研究Ⅰ	1	○	1	
VOCL516	オペラ台本特別研究Ⅱ	1	○	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	○	1	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（声楽研究）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	19単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ			1単位	10～11単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 声楽曲、特に歌曲の分野について広範な知識と教養を得ると同時に、5か国語（伊、独、仏、西、日）の歌曲を歌唱する技術を身に付け、演奏と研究の両側面の能力を活かして社会に貢献する

必修以外の履修推奨科目

	1年次	2年次
舞台発声研究（伊語）Ⅰ		修士論文Ⅰ①
舞台発声研究（独語）Ⅰ		修士論文Ⅰ②
舞台発声研究（仏語）Ⅰ		修士声楽アンサンブルⅡ
修士声楽アンサンブルⅠ		舞台表現テクニック研究Ⅰ
作品研究特殊講義Ⅰ		舞台発声研究（伊語）Ⅱ
		西洋音楽史研究Ⅰ

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	歌曲・オラトリオ中心のプログラム (10分以内)	歌曲・オラトリオ中心のプログラム (15分以内)
秋学期	歌曲・オラトリオ中心のプログラム (15分以内)	歌曲・オラトリオ中心のプログラム (20分以内)

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
VOCL501	修士表現実技（声楽）①	2	必修	1	
VOCL502	修士表現実技（声楽）②	2	必修	1	
VOCL601	修士表現実技（声楽）③	2	必修	2	
VOCL602	修士表現実技（声楽）④	2	必修	2	
VOCL505	修士歌曲特別演習①	2	必修	1	
VOCL506	修士歌曲特別演習②	2	必修	1	
VOCL605	修士歌曲特別演習③	2	必修	2	
VOCL606	修士歌曲特別演習④	2	必修	2	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A：「修士論文Ⅰ①・②」（2科目2単位） B：「修士論文Ⅱ」（1単位） C：「修士研究」（1単位）
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
COMN501	修士声楽アンサンブルⅠ	1	D	1	4科目の中から1科目1単位を選択必修
COMN502	修士声楽アンサンブルⅡ	1	D	1	
COMN503	修士声楽アンサンブルⅢ	1	D	1	
COMN504	修士声楽アンサンブルⅣ	1	D	1	
VOCL507	舞台発声研究（伊語）Ⅰ	1	○	1	
VOCL508	舞台発声研究（伊語）Ⅱ	1	○	1	
VOCL509	舞台発声研究（独語）Ⅰ	1	○	1	
VOCL510	舞台発声研究（独語）Ⅱ	1	○	1	
VOCL511	舞台発声研究（仏語）Ⅰ	1	○	1	
VOCL512	舞台発声研究（仏語）Ⅱ	1	○	1	
VOCL513	舞台表現テクニック研究Ⅰ	1	○	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（ピアノ）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	11単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ				19～20単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 音楽に関する幅広い知識と表現能力を身につけ、演奏家・アンサンブルピアニストを目指す。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1科目	修士研究
作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1科目	修士室内楽特別演習③
修士室内楽特別演習①	修士室内楽特別演習④
修士室内楽特別演習②	修士ピアノ合奏特別演習③
修士ピアノ合奏特別演習①	修士ピアノ合奏特別演習④
修士ピアノ合奏特別演習②	ピアノ伴奏研究Ⅲ
ピアノ伴奏研究Ⅰ	ピアノ伴奏研究Ⅳ
ピアノ伴奏研究Ⅱ	ペリオド演奏研究Ⅰ
指導法特別演習Ⅰ	
指導法特別演習Ⅱ	

- 幅広い知見を持つ指導者を目指し、社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1科目	修士論文
作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1科目	修士室内楽特別演習③
指導法特別演習Ⅰ	修士室内楽特別演習④
指導法特別演習Ⅱ	ピアノ伴奏研究Ⅲ
修士室内楽特別演習①	ピアノ伴奏研究Ⅳ
修士室内楽特別演習②	音楽文化研究Ⅰ
ピアノ伴奏研究Ⅰ	音楽文化研究Ⅱ
ピアノ伴奏研究Ⅱ	
実践英語研究①	
実践英語研究②	

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	詳細は年度初めに発表	詳細は年度初めに発表
秋学期	詳細は年度初めに発表	詳細は年度初めに発表

開講科目一覧

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
PIAN501	修士表現実技(ピアノ)①	2	必修	1	
PIAN502	修士表現実技(ピアノ)②	2	必修	1	
PIAN601	修士表現実技(ピアノ)③	2	必修	2	
PIAN602	修士表現実技(ピアノ)④	2	必修	2	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A:「修士論文Ⅰ①・②」(2科目2単位) B:「修士論文Ⅱ」(1単位) C:「修士研究」(1単位)
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
COMN501	修士声楽アンサンブルⅠ	1	○	1	
COMN502	修士声楽アンサンブルⅡ	1	○	1	
COMN503	修士声楽アンサンブルⅢ	1	○	1	
COMN504	修士声楽アンサンブルⅣ	1	○	1	
COMN505	修士室内楽特別演習①	1	○	1	
COMN506	修士室内楽特別演習②	1	○	1	
COMN601	修士室内楽特別演習③	1	○	2	
COMN602	修士室内楽特別演習④	1	○	2	
PIAN503	修士ピアノ合奏特別演習①	2	○	1	
PIAN504	修士ピアノ合奏特別演習②	2	○	1	
PIAN603	修士ピアノ合奏特別演習③	2	○	2	
PIAN604	修士ピアノ合奏特別演習④	2	○	2	
PIAN505	ピアノ伴奏研究Ⅰ	1	○	1	
PIAN506	ピアノ伴奏研究Ⅱ	1	○	1	
PIAN605	ピアノ伴奏研究Ⅲ	1	○	2	
PIAN606	ピアノ伴奏研究Ⅳ	1	○	2	
COMN507	指導法特別演習Ⅰ	1	○	1	
COMN508	指導法特別演習Ⅱ	1	○	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	○	1	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（弦・管・打楽器）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	15単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ			4単位	11～12単位

- ・ 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- ・ 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- ・ 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- ・ 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- ・ 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- ・ 音楽の各分野における高度な知識、教養、優れた技術や表現力を身につけたうえで、目標とした研究計画を進め、音楽と芸術文化に関する広範な知識を養い、社会や文化に対する多角的な視野と、高い識見を得られる。

必修以外の履修推奨科目

	1年次	2年次
ピリオド演奏研究Ⅰ		ピリオド演奏研究Ⅱ
西洋音楽史研究Ⅰ		西洋音楽史研究Ⅲ
西洋音楽史研究Ⅱ		西洋音楽史研究Ⅳ
作品研究特殊講義Ⅰ		作品研究特殊講義Ⅲ
作品研究特殊講義Ⅱ		作品研究特殊講義Ⅳ
音楽指導論特殊講義		
音楽文化研究Ⅰ		
音楽文化研究Ⅱ		
音楽文化研究Ⅲ		
音楽文化研究Ⅳ		

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	担当教員による授業内試験	担当教員による授業内試験
秋学期	15分	30分～45分

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
SWBP501	修士表現実技（弦管打）①	2	必修	1	
SWBP502	修士表現実技（弦管打）②	2	必修	1	
SWBP601	修士表現実技（弦管打）③	2	必修	2	
SWBP602	修士表現実技（弦管打）④	2	必修	2	
COMN505	修士室内楽特別演習①	1	必修	1	
COMN506	修士室内楽特別演習②	1	必修	1	
SWBP509	修士オーケストラ・スタディ①	1	必修	1	
SWBP510	修士オーケストラ・スタディ②	1	必修	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A：「修士論文Ⅰ①・②」（2科目2単位） B：「修士論文Ⅱ」（1単位） C：「修士研究」（1単位）
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
SWBP503	修士管弦楽特別演習①	2	D	1	
SWBP504	修士管弦楽特別演習②	2	D	1	
SWBP505	修士吹奏楽特別演習①	2	D	1	
SWBP506	修士吹奏楽特別演習②	2	D	1	
SWBP507	修士ギター合奏特別演習①	2	D	1	
SWBP508	修士ギター合奏特別演習②	2	D	1	
COMN601	修士室内楽特別演習③	1	○	2	
COMN602	修士室内楽特別演習④	1	○	2	
SWBP603	修士管弦楽特別演習③	2	○	2	
SWBP604	修士管弦楽特別演習④	2	○	2	
SWBP605	修士吹奏楽特別演習③	2	○	2	
SWBP606	修士吹奏楽特別演習④	2	○	2	
SWBP607	修士ギター合奏特別演習③	2	○	2	
SWBP608	修士ギター合奏特別演習④	2	○	2	
SWBP609	修士オーケストラ・スタディ③	1	○	2	
SWBP610	修士オーケストラ・スタディ④	1	○	2	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究 I	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究 II	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（電子オルガン）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	11単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ				19～20単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 電子オルガンに関する知識を深め、演奏と指導で社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
修士電子オルガン合奏特別演習①	修士電子オルガン合奏特別演習③
修士電子オルガン合奏特別演習②	修士電子オルガン合奏特別演習④
電子オルガン特別講義	修士室内楽特別演習①
	修士室内楽特別演習②
	指導法特別演習Ⅰ
	指導法特別演習Ⅱ

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	詳細は年度初めに発表	詳細は年度初めに発表
秋学期	詳細は年度初めに発表	詳細は年度初めに発表

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
ORGN501	修士表現実技(電子オルガン)①	2	必修	1	
ORGN502	修士表現実技(電子オルガン)②	2	必修	1	
ORGN601	修士表現実技(電子オルガン)③	2	必修	2	
ORGN602	修士表現実技(電子オルガン)④	2	必修	2	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A:「修士論文Ⅰ①・②」(2科目2単位) B:「修士論文Ⅱ」(1単位) C:「修士研究」(1単位)
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
COMN505	修士室内楽特別演習①	1	○	1	
COMN506	修士室内楽特別演習②	1	○	1	
COMN601	修士室内楽特別演習③	1	○	2	
COMN602	修士室内楽特別演習④	1	○	2	
ORGN503	修士電子オルガン合奏特別演習①	2	○	1	
ORGN504	修士電子オルガン合奏特別演習②	2	○	1	
ORGN603	修士電子オルガン合奏特別演習③	2	○	2	
ORGN604	修士電子オルガン合奏特別演習④	2	○	2	
COMN507	指導法特別演習Ⅰ	1	○	1	
COMN508	指導法特別演習Ⅱ	1	○	1	
ORGN505	電子オルガン特別講義	2	○	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作曲編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

開講科目一覧

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（作曲）

■ 卒業要件単位数：32単位

カテゴリ	必修科目	選択必修科目				選択科目
	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	15単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ				15～16単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 西洋音楽の作曲分野における高度な知識と教養及び優れた技術や表現力を身につける。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
修士ピアノ実技演習①	修士ピアノ実技演習③
修士ピアノ実技演習②	修士ピアノ実技演習④
修士室内楽特別演習①	修士室内楽特別演習③
修士室内楽特別演習②	修士室内楽特別演習④
作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目	作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目	西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目

- デジタルテクノロジーを応用した作曲分野における高度な知識と教養及び優れた技術や表現力を身につける。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
電子音響制作特別演習Ⅰ	修士録音制作特別演習①
電子音響制作特別演習Ⅱ	修士録音制作特別演習②
作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目	作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目	西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	作品提出。詳細はポータルサイトにて告知する。	作品提出。詳細はポータルサイトにて告知する。
秋学期	作品提出。詳細はポータルサイトにて告知する。	作品提出。詳細はポータルサイトにて告知する。

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
COMP501	修士表現実技（作曲）①	2	必修	1	
COMP502	修士表現実技（作曲）②	2	必修	1	
COMP601	修士表現実技（作曲）③	2	必修	2	
COMP602	修士表現実技（作曲）④	2	必修	2	
THRY501	修士楽曲分析特殊講義 I	2	必修	1	
THRY502	修士楽曲分析特殊講義 II	2	必修	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文 I ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A：「修士論文 I ①・②」（2科目2単位） B：「修士論文 II」（1単位） C：「修士研究」（1単位）
COMN604	修士論文 I ②	1	A	2	
COMN605	修士論文 II	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
COMN505	修士室内楽特別演習①	1	○	1	
COMN506	修士室内楽特別演習②	1	○	1	
COMN601	修士室内楽特別演習③	1	○	2	
COMN602	修士室内楽特別演習④	1	○	2	
COMP603	修士録音制作特別演習①	2	○	2	
COMP604	修士録音制作特別演習②	2	○	2	
PIAN507	修士ピアノ実技演習①	1	○	1	
PIAN508	修士ピアノ実技演習②	1	○	1	
PIAN607	修士ピアノ実技演習③	1	○	2	
PIAN608	修士ピアノ実技演習④	1	○	2	
COMP503	電子音響制作特別演習 I	1	○	1	
COMP504	電子音響制作特別演習 II	1	○	1	
MUCU503	音楽文化研究 I	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究 II	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究 III	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究 IV	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シリーズ I	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シリーズ II	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究 I	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究 II	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義 I	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義 II	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義 III	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義 IV	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究 I	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究 II	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究 III	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究 IV	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義 I	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義 II	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義 III	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義 IV	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義 V	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義 VI	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究 I	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究 II	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（指揮）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	11単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ				19～20単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 指揮分野における高度な知識と教養及び優れた技術や表現力を身につける。

必修以外の履修推奨科目

	1年次	2年次
修士ピアノ実技演習①		修士ピアノ実技演習③
修士ピアノ実技演習②		修士ピアノ実技演習④
修士室内楽特別演習①		修士室内楽特別演習③
修士室内楽特別演習②		修士室内楽特別演習④
修士楽曲分析特殊講義Ⅰ		作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目
修士楽曲分析特殊講義Ⅱ		西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目
作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目		
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1セメスター1科目、1年で2科目		

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	2台ピアノまたはオーケストラによる指揮実技試験。詳細はポータルサイトにて告知する。	2台ピアノまたはオーケストラによる指揮実技試験。詳細はポータルサイトにて告知する。
秋学期	2台ピアノまたはオーケストラによる指揮実技試験。詳細はポータルサイトにて告知する。	2台ピアノまたはオーケストラによる指揮実技試験。詳細はポータルサイトにて告知する。

開講科目一覧

ナンバリングコード	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
COND501	修士表現実技（指揮）①	2	必修	1	
COND502	修士表現実技（指揮）②	2	必修	1	
COND601	修士表現実技（指揮）③	2	必修	2	
COND602	修士表現実技（指揮）④	2	必修	2	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A：「修士論文Ⅰ①・②」（2科目2単位） B：「修士論文Ⅱ」（1単位） C：「修士研究」（1単位）
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
COMN505	修士室内楽特別演習①	1	○	1	
COMN506	修士室内楽特別演習②	1	○	1	
COMN601	修士室内楽特別演習③	1	○	2	
COMN602	修士室内楽特別演習④	1	○	2	
SWBP503	修士管弦楽特別演習①	2	○	1	
SWBP504	修士管弦楽特別演習②	2	○	1	
SWBP603	修士管弦楽特別演習③	2	○	2	
SWBP604	修士管弦楽特別演習④	2	○	2	
SWBP505	修士吹奏楽特別演習①	2	○	1	
SWBP506	修士吹奏楽特別演習②	2	○	1	
SWBP605	修士吹奏楽特別演習③	2	○	2	
SWBP606	修士吹奏楽特別演習④	2	○	2	
SWBP507	修士ギター合奏特別演習①	2	○	1	
SWBP508	修士ギター合奏特別演習②	2	○	1	
SWBP607	修士ギター合奏特別演習③	2	○	2	
SWBP608	修士ギター合奏特別演習④	2	○	2	
THRY501	修士楽曲分析特殊講義Ⅰ	2	○	1	
THRY502	修士楽曲分析特殊講義Ⅱ	2	○	1	
PIAN507	修士ピアノ実技演習①	1	○	1	
PIAN508	修士ピアノ実技演習②	1	○	1	
PIAN607	修士ピアノ実技演習③	1	○	2	
PIAN608	修士ピアノ実技演習④	1	○	2	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作曲編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究 I	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究 II	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術表現専攻（ジャズ&コンテンポラリーミュージック）

■ 卒業要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	19単位	A(2科目2単位)、B(1単位)、C(1単位)から1つ				11~12単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- ジャズやコンテンポラリーミュージックに関する知識や演奏技術の研究を通して得た技能を活かして社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
イングリッシュ・イン・ミュージック・シーズⅠ	修士J&CアンサンブルⅠ③
イングリッシュ・イン・ミュージック・シーズⅡ	修士J&CアンサンブルⅠ④
	修士J&CアンサンブルⅡ③
	修士J&CアンサンブルⅡ④
	修士J&Cスタディ③
	修士J&Cスタディ④

■ 実技試験について

学期	1年次	2年次
春学期	演奏時間は15分～20分、演奏形態は自由(伴奏者が必要な場合は各自手配をすること)	演奏時間は15分～20分、演奏形態は自由(伴奏者が必要な場合は各自手配をすること)
秋学期	演奏時間は15分～20分、演奏形態は自由(伴奏者が必要な場合は各自手配をすること)	演奏時間は15分～20分、演奏形態は自由(伴奏者が必要な場合は各自手配をすること)

ナンバリングコード	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
JZPR501	修士表現実技(J&C)①	2	必修	1	
JZPR502	修士表現実技(J&C)②	2	必修	1	
JZPR601	修士表現実技(J&C)③	2	必修	2	
JZPR602	修士表現実技(J&C)④	2	必修	2	
JZPR503	修士J&CアンサンブルⅠ①	1	必修	1	
JZPR504	修士J&CアンサンブルⅠ②	1	必修	1	
JZPR505	修士J&CアンサンブルⅡ①	1	必修	1	
JZPR506	修士J&CアンサンブルⅡ②	1	必修	1	
JZPR507	修士J&Cスタディ①	1	必修	1	
JZPR508	修士J&Cスタディ②	1	必修	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
JZPR509	J&C作曲法研究	2	必修	1	
COMN603	修士論文Ⅰ①	1	A	2	A、B、C何れか1つを選択必修 A:「修士論文Ⅰ①・②」(2科目2単位) B:「修士論文Ⅱ」(1単位) C:「修士研究」(1単位)
COMN604	修士論文Ⅰ②	1	A	2	
COMN605	修士論文Ⅱ	1	B	2	
COMN606	修士研究	1	C	2	
JZPR603	修士J&CアンサンブルⅠ③	1	○	2	
JZPR604	修士J&CアンサンブルⅠ④	1	○	2	
JZPR605	修士J&CアンサンブルⅡ③	1	○	2	
JZPR606	修士J&CアンサンブルⅡ④	1	○	2	
JZPR607	修士J&Cスタディ③	1	○	2	
JZPR608	修士J&Cスタディ④	1	○	2	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーズンⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーズンⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術運営専攻（アートマネジメント）

■ 修了要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	10単位	A(2科目4単位)、B(2科目4単位) 何れか1つを選択必修				18単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- アートマネジメントに関する高度な専門知識を活かして芸術文化の実務家となって社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
音楽芸術制作研究Ⅰ	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ～Ⅵから2科目
音楽芸術制作研究Ⅱ	
音楽芸術環境研究Ⅰ	
コンサート・オペレーション研究	
音楽マネジメント特殊講義Ⅰ～Ⅵから2科目	

- アートマネジメントに関する高度な専門知識を活かして芸術文化政策・マネジメントの研究者となって社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
音楽芸術運営基礎演習	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ～Ⅵから2科目
日本の文化政策研究	
世界の文化政策研究	
コンサート・オペレーション研究	
音楽マネジメント特殊講義Ⅰ～Ⅵから2科目	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
ARTM501	修士特別研究（アートマネジメント）①	2	必修	1	
ARTM502	修士特別研究（アートマネジメント）②	2	必修	1	
ARTM601	修士特別研究（アートマネジメント）③	2	必修	2	
ARTM602	修士特別研究（アートマネジメント）④	2	必修	2	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
ARTM503	日本の文化政策研究	2	A	1	A、B何れか1つを選択必修 A：「日本の文化政策研究」、「世界の文化政策研究」（2科目4単位） B：「音楽芸術制作研究Ⅰ・Ⅱ」（2科目4単位）
ARTM504	世界の文化政策研究	2	A	1	
ARTM505	音楽芸術制作研究Ⅰ	2	B	1	
ARTM506	音楽芸術制作研究Ⅱ	2	B	1	
COMN509	音楽芸術運営基礎演習	1	○	1	
ARTM507	音楽芸術環境研究Ⅰ	2	○	1	
ARTM508	音楽芸術環境研究Ⅱ	2	○	1	
ARTM509	コンサート・オペレーション研究	1	○	1	
MUTH519	記述統計特殊講義	2	○	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
PIAN509	音楽実技（ピアノ）①	1	○	1	・在学中合計4単位を上限に履修可。 ・必ず同年次に同じ楽器等を春→秋の順に2科目セットで履修すること。
PIAN510	音楽実技（ピアノ）②	1	○	1	
PIAN511	音楽実技（ピアノ）③	1	○	1	
PIAN512	音楽実技（ピアノ）④	1	○	1	
VOCL517	音楽実技（声楽）①	1	○	1	
VOCL518	音楽実技（声楽）②	1	○	1	
VOCL519	音楽実技（声楽）③	1	○	1	
VOCL520	音楽実技（声楽）④	1	○	1	
SWBP511	音楽実技（弦管打）①	1	○	1	
SWBP512	音楽実技（弦管打）②	1	○	1	
SWBP513	音楽実技（弦管打）③	1	○	1	
SWBP514	音楽実技（弦管打）④	1	○	1	
ORGN506	音楽実技（電子オルガン）①	1	○	1	
ORGN507	音楽実技（電子オルガン）②	1	○	1	
ORGN508	音楽実技（電子オルガン）③	1	○	1	
ORGN509	音楽実技（電子オルガン）④	1	○	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作曲編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーズンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーズンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究 I	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究 II	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究 I	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究 II	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究 III	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

音楽芸術運営専攻（音楽療法）

■ 修了要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	12単位	1単位	2単位	1単位		16単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 医療・福祉・教育等の分野で音楽療法の高度な専門的能力を発揮する実践者として社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
音楽療法技能特別演習Ⅰ	
音楽療法技能特別演習Ⅱ	
音楽療法技能特別演習Ⅲ	
音楽療法技能特別演習Ⅳ	
保健医療特殊講義	
高齢者福祉特殊講義	
障がい児教育特殊講義	
音楽療法上級実習Ⅲ	
音楽療法上級実習Ⅳ	
音楽療法上級実習Ⅴ	
音楽療法上級実習Ⅵ	
音楽療法指導研究	

- 音楽療法の高度な専門的能力と研究能力を活かして社会に貢献する。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
保健医療特殊講義	
高齢者福祉特殊講義	
障がい児教育特殊講義	
音楽療法文献講読研究Ⅰ	
音楽療法文献講読研究Ⅱ	
記述統計特殊講義	
推測統計特殊講義	

ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
MUTH501	修士特別研究（音楽療法）①	2	必修	1	
MUTH502	修士特別研究（音楽療法）②	2	必修	1	
MUTH601	修士特別研究（音楽療法）③	2	必修	2	
MUTH602	修士特別研究（音楽療法）④	2	必修	2	
MUTH503	音楽療法上級実習Ⅰ	1	必修	1	
MUTH504	音楽療法上級実習Ⅱ	1	必修	1	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
MUTH509	音楽療法技能特別演習Ⅰ（障がい児）	1	A	1	4科目の中から1科目1単位を選択必修
MUTH510	音楽療法技能特別演習Ⅱ（医療）	1	A	1	
MUTH511	音楽療法技能特別演習Ⅲ（高齢者）	1	A	1	
MUTH512	音楽療法技能特別演習Ⅳ（表現技能）	1	A	1	
MUTH513	保健医療特殊講義	2	B	1	3科目の中から1科目2単位を選択必修
MUTH514	高齢者福祉特殊講義	2	B	1	
MUTH515	障がい児教育特殊講義	2	B	1	
MUTH516	音楽療法文献講読研究Ⅰ	1	C	1	2科目の中から1科目1単位を選択必修
MUTH517	音楽療法文献講読研究Ⅱ	1	C	1	
COMN509	音楽芸術運営基礎演習	1	○	1	
MUTH505	音楽療法上級実習Ⅲ	1	○	1	
MUTH506	音楽療法上級実習Ⅳ	1	○	1	
MUTH507	音楽療法上級実習Ⅴ	1	○	1	
MUTH508	音楽療法上級実習Ⅵ	1	○	1	
MUTH603	音楽療法上級実習Ⅶ	1	○	2	
MUTH604	音楽療法上級実習Ⅷ	1	○	2	
MUTH605	音楽療法指導研究Ⅰ	1	○	2	
MUTH606	音楽療法指導研究Ⅱ	1	○	2	
MUTH518	推測統計特殊講義	2	○	1	
MUTH519	記述統計特殊講義	2	○	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	○	1	
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	○	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	○	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	○	1	
PIAN509	音楽実技（ピアノ）①	1	○	1	・在学中合計4単位を上限に履修可。 ・必ず同年次に同じ楽器等を春→秋の順に2科目セットで履修すること。
PIAN510	音楽実技（ピアノ）②	1	○	1	
PIAN511	音楽実技（ピアノ）③	1	○	1	
PIAN512	音楽実技（ピアノ）④	1	○	1	
VOCL517	音楽実技（声楽）①	1	○	1	
VOCL518	音楽実技（声楽）②	1	○	1	
VOCL519	音楽実技（声楽）③	1	○	1	
VOCL520	音楽実技（声楽）④	1	○	1	
SWBP511	音楽実技（弦管打）①	1	○	1	
SWBP512	音楽実技（弦管打）②	1	○	1	
SWBP513	音楽実技（弦管打）③	1	○	1	
SWBP514	音楽実技（弦管打）④	1	○	1	
ORGN506	音楽実技（電子オルガン）①	1	○	1	
ORGN507	音楽実技（電子オルガン）②	1	○	1	
ORGN508	音楽実技（電子オルガン）③	1	○	1	
ORGN509	音楽実技（電子オルガン）④	1	○	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作曲編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ペリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ペリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	○	1	
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	○	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	○	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	○	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	○	1	

ナバ [®] リング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	○	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	○	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	○	1	
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN519	日本語日本文化研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

認定音楽療法士 資格取得科目(修了要件外)

認定音楽療法士 資格取得科目(修了要件外)は、音楽芸術運営専攻(音楽療法)の者のみが履修できる。履修相談後、4月中に履修科目を決定すること。年度途中の履修科目追加・変更は認めない。

専攻	日本音楽療法学会認定 音楽療法士 資格取得開設科目	単位数
音楽芸術運営専攻(音楽療法)	音楽療法技能特別演習Ⅰ	1
	音楽療法技能特別演習Ⅱ	1
	音楽療法技能特別演習Ⅲ	1
	音楽療法技能特別演習Ⅳ	1
	音楽療法各論特殊講義Ⅰ	2
	音楽療法各論特殊講義Ⅱ	2
	音楽療法各論特殊講義Ⅲ	2
	音楽療法の研究特殊講義	2
	音楽療法の諸理論特殊講義	2
	コミュニケーション技能特別演習Ⅰ	1
	コミュニケーション技能特別演習Ⅱ	1
	音楽療法概論特殊講義	1
	療法的音楽教育論特殊講義	2
	発達心理学特殊講義	2
	障がい児教育概論特殊講義	2
	社会福祉概論特殊講義	2
	臨床医学各論特殊講義Ⅰ	2
	臨床医学各論特殊講義Ⅱ	2
	臨床心理学特殊講義Ⅰ	2
	臨床心理学特殊講義Ⅱ	2
	医学一般特殊講義	2
	音楽心理学特殊講義	2
	副科ピアノ実技演習①	1
	副科ピアノ実技演習②	1
	副科声楽実技演習①	1
	副科声楽実技演習②	1
	副科器楽実技演習①	1
	副科器楽実技演習②	1
	音楽理論特別演習Ⅰ	1
	音楽理論特別演習Ⅱ	1
	和声特別演習Ⅰ	1
	和声特別演習Ⅱ	1
	ソルフェージュ特別演習Ⅰ	1
	ソルフェージュ特別演習Ⅱ	1
楽式論特殊講義Ⅰ	2	
楽式論特殊講義Ⅱ	2	

音楽芸術運営専攻（音楽と文化）

■ 修了要件単位数：32単位

	必修科目	選択必修科目				選択科目
カテゴリ	必修	A	B	C	D	○
指定単位数	10単位	4単位	4単位	2単位		12単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 必修科目および選択必修科目は、各カテゴリに属する科目の中から指定単位数を修得すること
- 選択科目は、カテゴリ「○」および、指定単位数を超えて修得した選択必修科目の単位数を加えることができる
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる

■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 音楽文化に関する専門知識と研究スキルを活かして博士課程進学を目指す。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
音楽文化研究Ⅰ	音楽文化研究Ⅲ
音楽文化研究Ⅱ	音楽文化研究Ⅳ
原典講読研究Ⅰ（英語）	原典講読研究Ⅱ（ドイツ語）
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1科目以上	作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1科目以上
ピリオド演奏研究Ⅰ	ピリオド音楽研究Ⅱ

- 音楽文化に関する幅広い専門知識を活かして教員を目指す。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
音楽文化研究Ⅰ	音楽文化研究Ⅲ
音楽文化研究Ⅱ	音楽文化研究Ⅳ
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1科目以上	作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1科目以上
ピリオド演奏研究Ⅰ	音楽と文化実技Ⅰ①
音楽指導論特殊講義	音楽と文化実技Ⅰ②
	音楽家とキャリアマネジメント

- 音楽文化に関する幅広い専門知識を活かして実務家を目指す。

必修以外の履修推奨科目

1年次	2年次
音楽文化研究Ⅰ	音楽文化研究Ⅲ
音楽文化研究Ⅱ	音楽文化研究Ⅳ
西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳから1科目以上	作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳから1科目以上
音楽家とキャリアマネジメント	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ～Ⅵから1科目以上
イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ

■ 「音楽実技」「音楽と文化実技」のジャンル、選択可能楽器等について

科目名	ジャンル	選択可能楽器等
音楽実技（声楽）	声楽	声楽
音楽実技（ピアノ）	器楽・ピアノ	ピアノ
音楽と文化実技	器楽・電子オルガン	電子オルガン
	器楽・弦管打楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器
	作曲	作曲
	指揮	指揮
	ジャズ、ポップ&ロック	ギター、ベース、ウッドベース、ドラムス、パーカッション、サクソフォーン、トランペット、トロンボーン、ピアノ、ヴォーカル
		【履修許可の主な基準】 作曲・指揮・ジャズ、ポップ&ロックについては、以下の条件を満たし、履修相談の上、履修を許可された者に限って認める。 ① 出身大学において、主専攻として単位を取得した者（ただし音楽大学等のカリキュラム以外にその分野の修得実績がある者に対しては、履修相談の上履修を認めることがある）。 ② 本学音楽教養コース出身者が作曲の履修を希望する場合は、主科（音楽教養実技）または副科（副科実技）で作曲の単位を取得した者。

ナンバリングコード	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
MUCU501	修士特別研究（音楽と文化）①	2	必修	1	
MUCU502	修士特別研究（音楽と文化）②	2	必修	1	
MUCU601	修士特別研究（音楽と文化）③	2	必修	2	
MUCU602	修士特別研究（音楽と文化）④	2	必修	2	
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2	必修	1	
MUCU503	音楽文化研究Ⅰ	2	A	1	4科目の中から2科目4単位を選択必修
MUCU504	音楽文化研究Ⅱ	2	A	1	
MUCU505	音楽文化研究Ⅲ	2	A	1	
MUCU506	音楽文化研究Ⅳ	2	A	1	
MCGY502	作品研究特殊講義Ⅰ	2	B	1	8科目の中から2科目4単位を選択必修
MCGY503	作品研究特殊講義Ⅱ	2	B	1	
MCGY504	作品研究特殊講義Ⅲ	2	B	1	
MCGY505	作品研究特殊講義Ⅳ	2	B	1	
HIST502	西洋音楽史研究Ⅰ	2	B	1	
HIST503	西洋音楽史研究Ⅱ	2	B	1	
HIST504	西洋音楽史研究Ⅲ	2	B	1	
HIST505	西洋音楽史研究Ⅳ	2	B	1	
MCGY506	原典講読研究Ⅰ	2	C	1	2科目の中から1科目2単位を選択必修
MCGY507	原典講読研究Ⅱ	2	C	1	
COMN509	音楽芸術運営基礎演習	1	○	1	
PIAN509	音楽実技（ピアノ）①	1	○	1	・（ピアノ）、（声楽）から在学中4単位を上限に履修可。 ・必ず同年次に同じ楽器等を春→秋の順に2科目セットで履修すること。
PIAN510	音楽実技（ピアノ）②	1	○	1	
PIAN511	音楽実技（ピアノ）③	1	○	1	
PIAN512	音楽実技（ピアノ）④	1	○	1	
VOCL517	音楽実技（声楽）①	1	○	1	・音楽実技科目と併せて1学期あたり最大2科目を上限に履修可。 ・必ず同年次に同じ楽器等を春→秋の順に2科目セットで履修すること
VOCL518	音楽実技（声楽）②	1	○	1	
VOCL519	音楽実技（声楽）③	1	○	1	
VOCL520	音楽実技（声楽）④	1	○	1	
MUCU507	音楽と文化実技Ⅰ①	1	○	1	・音楽実技科目と併せて1学期あたり最大2科目を上限に履修可。 ・必ず同年次に同じ楽器等を春→秋の順に2科目セットで履修すること
MUCU508	音楽と文化実技Ⅰ②	1	○	1	
MUCU509	音楽と文化実技Ⅱ①	1	○	1	
MUCU510	音楽と文化実技Ⅱ②	1	○	1	
MCGY501	音楽研究法基礎	1	○	1	
COMN510	学外実習研究①	1	○	1	履修方法はシラバス参照のこと。
COMN607	学外実習研究②	1	○	2	履修方法はシラバス参照のこと。
JZPR509	J&C作編曲法研究	2	○	1	
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ	1	○	1	
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅡ	1	○	1	
SWBP515	ペリオド演奏研究Ⅰ	2	○	1	
SWBP516	ペリオド演奏研究Ⅱ	2	○	1	
COMN511	音楽指導論特殊講義	2	○	1	
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2	○	1	
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義Ⅰ	2	○	1	
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義Ⅱ	2	○	1	
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義Ⅲ	2	○	1	
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義Ⅳ	2	○	1	
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義Ⅴ	2	○	1	
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義Ⅵ	2	○	1	
ENGL501	実践英語研究①	1	○	1	
ENGL502	実践英語研究②	1	○	1	
ITAL501	実践伊語研究①	1	○	1	
ITAL502	実践伊語研究②	1	○	1	
ABRD501	修士海外特別研修①	1	○	1	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
ABRD601	修士海外特別研修②	1	○	2	履修登録は研修参加確定後に授業支援室が行う。
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN515	日本語と日本社会研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN516	日本語と日本社会研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN517	実用日本語研究Ⅰ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN518	実用日本語研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

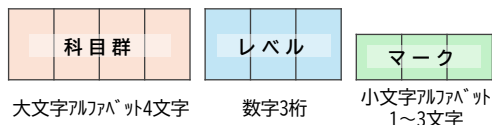
ナンバリング コード	科目名	単位数	カテ ゴリ	配当 年次	備考
COMN520	日本語日本文化研究Ⅱ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN521	日本語日本文化研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN522	日本語と日本社会研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN524	実践日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN525	キャリアと日本語研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1	○	1	指定された者のみ履修可能。『日本語科目について』を参照のこと。

◎ 科目ナンバリング

本学では、授業科目に番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み、科目ナンバリングを導入しています。

科目ナンバリングは、学生の主体的な学修支援を目的としています。各科目のナンバリングコードで科目群やレベル等を理解し、シラバスの確認や履修登録の参考にしてください。

■ ナンバリングコードの構成



科目群	アルファベット	アルファベットの由来	備考
教養科目	LART	Liberal Arts	資格課程関連科目はCERTを付与
英語科目	ENGL	English	基礎101~119、初級120~139、中級140~159、上級160~179
イタリア語科目	ITAL	Italian	
ドイツ語科目	GRMN	German	
フランス語科目	FRNC	French	
作曲系科目	COMP	Composition	作曲、サウンドプロデュース、デジタルミュージック
指揮系科目	COND	Conducting	
声楽系科目	VOCL	Vocal Music	声楽、合唱指導者
声とことばの創造表現系科目	VOWO	Voice and Words	
ピアノ系科目	PIAN	Piano	
オルガン系科目	ORGN	Organ	オルガン、電子オルガン
弦管打楽器系科目	SWBP	Strings, Woodwinds, Brass, Percussion	
ジャズ、ポップ&ロック系科目	JZPR	Jazz, Pop&Rock music	ジャズ、ポップ&ロック、ジャズ&コンテンポラリーミュージック
アートマネジメント系科目	ARTM	Arts Management	
舞台スタッフ系科目	SSTF	Stage Staff	
ミュージカル系科目	MUCL	Musical	
バレエ系科目	BALL	Ballet	
音楽療法系科目	MUTH	Music Therapy	
音楽教養系科目	MULA	Music Liberal Arts	
音楽と社会系科目	MUSO	Music and Society	
音楽と文化系科目	MUCU	Music and Culture	
音楽基礎・理論系科目	THRY	Music Theory	
音楽史・芸術史系科目	HIST	History	
ソルフェージュ科目	SOLF	Solfège	
音楽学系科目	MCGY	Musicology	
海外研修科目	ABRD	Study Abroad	
資格課程関連科目	CERT	Certificate Programs	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目
表現領域科目	DMAP	DMA program	博士後期課程音楽芸術表現領域向け科目
運営および音楽文化研究領域科目	PHDP	PhD programs	博士後期課程音楽芸術運営領域および音楽文化研究領域向け科目
その他	COMN	Common Courses	

レベル	数字	備考
学部、短大1年次相当	100番台	
学部、短大2年生相当	200番台	短大教職課程及び司書課程の一部の科目は例外あり。詳細は資格課程履修要綱・教職課程ハンドブックを参照。
学部3年生相当	300番台	
学部4年生相当	400番台	
修士、専攻科1年生相当	500番台	
修士2年生相当	600番台	
博士1年生相当	700番台	
博士2年生相当	800番台	
博士3年生相当	900番台	

マーク	アルファベット	アルファベットの由来	備考
短大開講科目	a	Associate degree programs	
専攻科開講科目	p	Post-baccalaureate program	
教職課程関連科目	t	Teacher	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目
学芸員課程関連科目	c	Curator	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目
司書課程関連科目	l	Librarian	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目

修士課程 科目一覧 (ナンバリングコード アルファベット順)

ナンバリングコード	科目名	単位数
ABRD501	修士海外特別研修①	1
ABRD601	修士海外特別研修②	1
ARTM501	修士特別研究 (アートマネジメント) ①	2
ARTM502	修士特別研究 (アートマネジメント) ②	2
ARTM503	日本の文化政策研究	2
ARTM504	世界の文化政策研究	2
ARTM505	音楽芸術制作研究 I	2
ARTM506	音楽芸術制作研究 II	2
ARTM507	音楽芸術環境研究 I	2
ARTM508	音楽芸術環境研究 II	2
ARTM509	コンサート・オペレーション研究	1
ARTM510	音楽マネジメント特殊講義 I	2
ARTM511	音楽マネジメント特殊講義 II	2
ARTM512	音楽マネジメント特殊講義 III	2
ARTM513	音楽マネジメント特殊講義 IV	2
ARTM514	音楽マネジメント特殊講義 V	2
ARTM515	音楽マネジメント特殊講義 VI	2
ARTM601	修士特別研究 (アートマネジメント) ③	2
ARTM602	修士特別研究 (アートマネジメント) ④	2
COMN501	修士声楽アンサンブル I	1
COMN502	修士声楽アンサンブル II	1
COMN503	修士声楽アンサンブル III	1
COMN504	修士声楽アンサンブル IV	1
COMN505	修士室内楽特別演習①	1
COMN506	修士室内楽特別演習②	1
COMN507	指導法特別演習 I	1
COMN508	指導法特別演習 II	1
COMN509	音楽芸術運営基礎演習	1
COMN510	学外実習研究①	1
COMN511	音楽指導論特殊講義	2
COMN512	音楽家とキャリアマネジメント	2
COMN513	日本語文法とコミュニケーション研究 I	1
COMN514	日本語文法とコミュニケーション研究 II	1
COMN515	日本語と日本社会研究 I	1
COMN516	日本語と日本社会研究 II	1
COMN517	実用日本語研究 I	1
COMN518	実用日本語研究 II	1
COMN519	日本語日本文化研究 I	1
COMN520	日本語日本文化研究 II	1
COMN521	日本語日本文化研究 III	1
COMN522	日本語と日本社会研究 III	1
COMN523	日本語文法とコミュニケーション研究 III	1
COMN524	実践日本語研究	1
COMN525	キャリアと日本語研究	1
COMN526	アカデミック・ジャパニーズ研究	1
COMN601	修士室内楽特別演習③	1
COMN602	修士室内楽特別演習④	1
COMN603	修士論文 I ①	1
COMN604	修士論文 I ②	1
COMN605	修士論文 II	1
COMN606	修士研究	1
COMN607	学外実習研究②	1
COMP501	修士表現実技 (作曲) ①	2
COMP502	修士表現実技 (作曲) ②	2
COMP503	電子音響制作特別演習 I	1
COMP504	電子音響制作特別演習 II	1
COMP601	修士表現実技 (作曲) ③	2
COMP602	修士表現実技 (作曲) ④	2
COMP603	修士録音制作特別演習①	2
COMP604	修士録音制作特別演習②	2

ナンバリングコード	科目名	単位数
COND501	修士表現実技 (指揮) ①	2
COND502	修士表現実技 (指揮) ②	2
COND601	修士表現実技 (指揮) ③	2
COND602	修士表現実技 (指揮) ④	2
ENGL501	実践英語研究①	1
ENGL502	実践英語研究②	1
HIST501	西洋音楽史特殊講義	2
HIST502	西洋音楽史研究 I	2
HIST503	西洋音楽史研究 II	2
HIST504	西洋音楽史研究 III	2
HIST505	西洋音楽史研究 IV	2
ITAL501	実践伊語研究①	1
ITAL502	実践伊語研究②	1
JZPR501	修士表現実技 (J&C) ①	2
JZPR502	修士表現実技 (J&C) ②	2
JZPR503	修士 J&C アンサンブル I ①	1
JZPR504	修士 J&C アンサンブル I ②	1
JZPR505	修士 J&C アンサンブル II ①	1
JZPR506	修士 J&C アンサンブル II ②	1
JZPR507	修士 J&C スタディ①	1
JZPR508	修士 J&C スタディ②	1
JZPR509	J&C 作曲法研究	2
JZPR510	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズ I	1
JZPR511	イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズ II	1
JZPR601	修士表現実技 (J&C) ③	2
JZPR602	修士表現実技 (J&C) ④	2
JZPR603	修士 J&C アンサンブル I ③	1
JZPR604	修士 J&C アンサンブル I ④	1
JZPR605	修士 J&C アンサンブル II ③	1
JZPR606	修士 J&C アンサンブル II ④	1
JZPR607	修士 J&C スタディ③	1
JZPR608	修士 J&C スタディ④	1
MCGY501	音楽研究法基礎	1
MCGY502	作品研究特殊講義 I	2
MCGY503	作品研究特殊講義 II	2
MCGY504	作品研究特殊講義 III	2
MCGY505	作品研究特殊講義 IV	2
MCGY506	原典講読研究 I	2
MCGY507	原典講読研究 II	2
MUCU501	修士特別研究 (音楽と文化) ①	2
MUCU502	修士特別研究 (音楽と文化) ②	2
MUCU503	音楽文化研究 I	2
MUCU504	音楽文化研究 II	2
MUCU505	音楽文化研究 III	2
MUCU506	音楽文化研究 IV	2
MUCU507	音楽と文化実技 I ①	1
MUCU508	音楽と文化実技 I ②	1
MUCU509	音楽と文化実技 II ①	1
MUCU510	音楽と文化実技 II ②	1
MUCU601	修士特別研究 (音楽と文化) ③	2
MUCU602	修士特別研究 (音楽と文化) ④	2
MUTH501	修士特別研究 (音楽療法) ①	2
MUTH502	修士特別研究 (音楽療法) ②	2
MUTH503	音楽療法上級実習 I	1
MUTH504	音楽療法上級実習 II	1
MUTH505	音楽療法上級実習 III	1
MUTH506	音楽療法上級実習 IV	1
MUTH507	音楽療法上級実習 V	1
MUTH508	音楽療法上級実習 VI	1
MUTH509	音楽療法技能特別演習 I (障がい児)	1

修士課程 科目一覧 (ナンバリングコード アルファベット順)

ナンバリングコード	科目名	単位数
MUTH510	音楽療法技能特別演習Ⅱ (医療)	1
MUTH511	音楽療法技能特別演習Ⅲ (高齢者)	1
MUTH512	音楽療法技能特別演習Ⅳ (表現技能)	1
MUTH513	保健医療特殊講義	2
MUTH514	高齢者福祉特殊講義	2
MUTH515	障がい児教育特殊講義	2
MUTH516	音楽療法文献講読研究Ⅰ	1
MUTH517	音楽療法文献講読研究Ⅱ	1
MUTH518	推測統計特殊講義	2
MUTH519	記述統計特殊講義	2
MUTH601	修士特別研究 (音楽療法) ③	2
MUTH602	修士特別研究 (音楽療法) ④	2
MUTH603	音楽療法上級実習Ⅶ	1
MUTH604	音楽療法上級実習Ⅷ	1
MUTH605	音楽療法指導研究Ⅰ	1
MUTH606	音楽療法指導研究Ⅱ	1
ORGN501	修士表現実技(電子オルガン)①	2
ORGN502	修士表現実技(電子オルガン)②	2
ORGN503	修士電子オルガン合奏特別演習①	2
ORGN504	修士電子オルガン合奏特別演習②	2
ORGN505	電子オルガン特別講義	2
ORGN506	音楽実技 (電子オルガン) ①	1
ORGN507	音楽実技 (電子オルガン) ②	1
ORGN508	音楽実技 (電子オルガン) ③	1
ORGN509	音楽実技 (電子オルガン) ④	1
ORGN601	修士表現実技(電子オルガン)③	2
ORGN602	修士表現実技(電子オルガン)④	2
ORGN603	修士電子オルガン合奏特別演習③	2
ORGN604	修士電子オルガン合奏特別演習④	2
PIAN501	修士表現実技(ピアノ)①	2
PIAN502	修士表現実技(ピアノ)②	2
PIAN503	修士ピアノ合奏特別演習①	2
PIAN504	修士ピアノ合奏特別演習②	2
PIAN505	ピアノ伴奏研究Ⅰ	1
PIAN506	ピアノ伴奏研究Ⅱ	1
PIAN507	修士ピアノ実技演習①	1
PIAN508	修士ピアノ実技演習②	1
PIAN509	音楽実技 (ピアノ) ①	1
PIAN510	音楽実技 (ピアノ) ②	1
PIAN511	音楽実技 (ピアノ) ③	1
PIAN512	音楽実技 (ピアノ) ④	1
PIAN601	修士表現実技(ピアノ)③	2
PIAN602	修士表現実技(ピアノ)④	2
PIAN603	修士ピアノ合奏特別演習③	2
PIAN604	修士ピアノ合奏特別演習④	2
PIAN605	ピアノ伴奏研究Ⅲ	1
PIAN606	ピアノ伴奏研究Ⅳ	1
PIAN607	修士ピアノ実技演習③	1
PIAN608	修士ピアノ実技演習④	1
SWBP501	修士表現実技 (弦管打) ①	2
SWBP502	修士表現実技 (弦管打) ②	2
SWBP503	修士管弦楽特別演習①	2
SWBP504	修士管弦楽特別演習②	2
SWBP505	修士吹奏楽特別演習①	2
SWBP506	修士吹奏楽特別演習②	2
SWBP507	修士ギター合奏特別演習①	2
SWBP508	修士ギター合奏特別演習②	2
SWBP509	修士オーケストラ・スタディ①	1
SWBP510	修士オーケストラ・スタディ②	1
SWBP511	音楽実技 (弦管打) ①	1

ナンバリングコード	科目名	単位数
SWBP512	音楽実技 (弦管打) ②	1
SWBP513	音楽実技 (弦管打) ③	1
SWBP514	音楽実技 (弦管打) ④	1
SWBP515	ピリオド演奏研究Ⅰ	2
SWBP516	ピリオド演奏研究Ⅱ	2
SWBP601	修士表現実技 (弦管打) ③	2
SWBP602	修士表現実技 (弦管打) ④	2
SWBP603	修士管弦楽特別演習③	2
SWBP604	修士管弦楽特別演習④	2
SWBP605	修士吹奏楽特別演習③	2
SWBP606	修士吹奏楽特別演習④	2
SWBP607	修士ギター合奏特別演習③	2
SWBP608	修士ギター合奏特別演習④	2
SWBP609	修士オーケストラ・スタディ③	1
SWBP610	修士オーケストラ・スタディ④	1
THRY501	修士楽曲分析特殊講義Ⅰ	2
THRY502	修士楽曲分析特殊講義Ⅱ	2
VOCL501	修士表現実技 (声楽) ①	2
VOCL502	修士表現実技 (声楽) ②	2
VOCL503	修士オペラ特別演習①	2
VOCL504	修士オペラ特別演習②	2
VOCL505	修士歌曲特別演習①	2
VOCL506	修士歌曲特別演習②	2
VOCL507	舞台発声研究 (伊語)Ⅰ	1
VOCL508	舞台発声研究 (伊語)Ⅱ	1
VOCL509	舞台発声研究 (独語)Ⅰ	1
VOCL510	舞台発声研究 (独語)Ⅱ	1
VOCL511	舞台発声研究 (仏語)Ⅰ	1
VOCL512	舞台発声研究 (仏語)Ⅱ	1
VOCL513	舞台表現テクニック研究Ⅰ	1
VOCL514	舞台表現テクニック研究Ⅱ	1
VOCL515	オペラ台本特別研究Ⅰ	1
VOCL516	オペラ台本特別研究Ⅱ	1
VOCL517	音楽実技 (声楽) ①	1
VOCL518	音楽実技 (声楽) ②	1
VOCL519	音楽実技 (声楽) ③	1
VOCL520	音楽実技 (声楽) ④	1
VOCL601	修士表現実技 (声楽) ③	2
VOCL602	修士表現実技 (声楽) ④	2
VOCL603	修士オペラ特別演習③	2
VOCL604	修士オペラ特別演習④	2
VOCL605	修士歌曲特別演習③	2
VOCL606	修士歌曲特別演習④	2

教育職員免許状(専修免許状)の取得について、手続きや詳細は教職課程ハンドブックを確認すること。

令和8(2026)年度 教職課程ハンドブック

[ここをクリック](#)



Showa
ACADEMIA
MUSICAE